

メディアリリース

エリコンバルザースは 25 周年を祝い、インドにフォーミングツール専用の施設を開設します。

2019 年 10 月 17 日バルザース・リヒテンシュタイン – サーフェスソリューションの大手エリコンバルザースは 10 月 12 日、インドのプーネで稼働 25 周年を祝いました。顧客、特別なゲスト、そして従業員が集まり、成長し続けるインド市場にひきつづき注力するエリコンバルザースの姿勢の表れでもある、新しいフォーミングツールセンターの開設に注目しました。

既存のカスタマーセンターを大幅に拡大し、エリコンバルザースがプーネとインド全域からの、ますます増大する高品質コーティングへの要望に応え、フォーミングツール向けのより幅広いサービスを提供することを可能にします。新しい製造ラインは最先端技術や後処理、前処理に特化し、大型の金型や金属、樹脂、アルミダイカスト用金型への低圧窒化にも対応可能です。プーネにおいて、メタルフォーミングと樹脂加工産業の様々な分野のサプライヤーがエリコンバルザースの顧客になります。

プーネのカスタマーセンターは、インドにおける最初の拠点であり、1994 年の開設以来、私たちのグローバルビジネスの重要な柱となってきました。高品質コーティングと、前処理後処理に対する高まる要求に合うよう、これまで 25 年の間に、新しいカスタマーセンターを開設するとともに、生産設備を拡大し、ローカル企業、グローバル企業相方の工具、自動車、その他の産業にサービスを提供してきました。

約 150 顧客、25 名の特別ゲスト、そして 150 人の従業員がプーネに集まり、盛大な竣工式で 25 周年を祝い、恒例の竣工銘板を披露し、テープカットを行いました。このイベントは、エリコンバルザースの経営陣によって開催され、テグテック マネージングディレクターの L.クリシュナン氏、ゼチャプレジジョンツール マネージングディレクターのヴィンドゥ・ネヴァティア氏、エリコンバルザース、前マネジメントディレクターのアントン・アンジェーン氏、ヴァサンタツールクラフト、マネージングディレクターのダヤナ

ンド・ロビー氏、そしてムンバイ、スイス領事館のオトマール・ハーデガー氏が集まりました。

ドクター・ウルフギヤング・カルス（ヘッド オブ カuttingツール）、アンドレアス・ライター（ヘッド オブ フォーミングツール）、そしてプラビン・シルス（インド・東南アジア地域のヘッド）は、そのスピーチの中で、インドにおけるエリコンバルザースのこれまでの成長を振り返りました。

ドクター・ウルフギヤング・カルスは「1994年の稼働開始後、インド全土の新しいコーティングセンターを作ることに継続的に投資をしてきました。そして、一貫した高品質のカスタマーサービスはエリコンバルザースのインドにおける高い評判を築き、コーティング産業のリーダーとしてのポジションを確立させました。そこで私たちは常に最新のコーティング技術と装置を用意し、顧客に素晴らしい製品とサービスを提供してきました。しかし、これらはすべて重要な要素ではありますが、この成功の核心は経営陣と従業員の絶えることのない情熱と責任感にあるのです。彼らの献身と、会社のために熱心に働いてくださったことに心より感謝を申し上げます。」

ドクター・アンドレアス・ライターは「この10年間エリコンバルザースのフォーミングツール向けコーティングは著しく成長しました。既存のコーティングセンターは30%も拡大し、新しい製造スペースはフォーミングツールに特化しています。前処理、後処理を含む最新の技術を備え、リードタイムを短縮できる革新的なコーティングサービスソリューションに対する顧客の要求に応えることで、エリコンバルザースはさらに拡大していくでしょう。」

プラビン・シルスは「25年以上の間、私たちの技術とサービスに信頼を寄せてくださった顧客の皆さまに心からの感謝を申し上げます。もちろん、この成功はプロフェッショナルで情熱的な従業員がいてこそ達成できたことです。今日、献身的で前向きな皆さまの素晴らしいチームを率いることができていることができて光栄です。チームの中には、非常に若い時に入社し、組織の中で成長して昇進した方がたくさんいます。私もその一人であることを誇らしく思います。」



特別ゲストとエリコンバルザース経営陣によるテープカットで、公式に生産を開始しました。(from L to R): L. Krishnan (Managing Director, TaeguTec), Vidhu Nevatia (Managing Director, Zecha Precision Tools Ltd.), Anton Angehrn (former Managing Director, Oerlikon Balzers India), Andreas Reiter (Head of Forming Tools, Oerlikon Balzers), Wolfgang Kalss (Head of Cutting Tools, Oerlikon Balzers), Dayanand Reddy (Managing Director, Vasantha Tool Crafts Pvt. Ltd), Michel Maesli (Director Sales & Operations, Oerlikon Balzers Thailand), Cdr. Anand Badve (Chairman Oerlikon Balzers India), Othmar Hardegger (Consul General of Switzerland in Mumbai) and Pravin Shirse (Managing Director & Regional Executive SE Asia, Oerlikon Balzers)



竣工銘板のお披露目 (from L to R): Pravin Shirse (Managing Director & Regional Executive SE Asia, Oerlikon Balzers), Andreas Reiter (Head of Forming Tools, Oerlikon Balzers) and Wolfgang Kalss (Head of Cutting Tools, Oerlikon Balzers)



インドにて 25 周年を祝うとともに、フォーミングツール向けのカスタマーセンターをプーネに開設しました。既存の工場は 30% 拡張され、フォーミングツールのコーティングへの顧客の要求に応えます。

より詳しい情報は下記へお問い合わせください:

Alessandra Doëll
Head of Communications, Oerlikon Balzers
T +423 388 7500
alessandra.doell@oerlikon.com
www.oerlikon.com/balzers

日本エリコンバルザース株式会社
マーケティングマネージャー
林俊一
Tel. 0463-67-0878
shunichi.hayashi@oerlikon.com

エリコンバルザースについて

エリコンバルザースは、金属およびプラスチック加工産業における精密部品および工具・金型の性能と耐久性を飛躍的に向上させる表面技術の世界的リーディングサプライヤーのひとつです。極めて薄い高硬度のコーティングは **BALINIT** および **BALIQ** というブランド名で販売され、摩擦と摩耗を低減させます。**BALITHERM** ブランドは熱処理サービスの幅を広げ、エレガントで幅広い色合いを使用できるコーティングから成る **BALTONE** は装飾アプリケーションに最適です。**BALIMED** 薄膜コーティングは耐摩耗性、生体適合性、抗菌性および化学的不活性という特性を備え、医療アプリケーションに特化して開発されました。当社は **BALIFOR** の技術的ブランドのもと、自動車市場向けテーラーメイド・ソリューションを提供するテクノロジーを発表しました。また、**ePD** はクロム効果によるプラスチック部品の金属化のためのソリューションを展開しています。

全世界で 1,100 台以上のコーティングシステムがエリコンバルザースおよび顧客の施設で稼働しています。装置エンジニアリングとバルザースマシンの組み立ては、リヒテンシュタイン、スイスのランゲンタールおよびドイツのベルギッシュ・グラートバハにて行われています。エリコンバルザースが運営するコーティングセンターネットワークは、すでにヨーロッパ、アメリカ大陸、そしてアジアの 35 か国で 100 か所以上に及び、さらに拡大し続けています。エリコンバルザースはエリコンメテコ、そしてエリコン **AM** とともに、スイスに本社を置くエリコングループのサーフェスソリューションズセグメントに属しています (スイス証券取引所：OERL)。